

Introduction to Japanese Pronunciation
Theory and Practice

日本語の 発音教室

窪園晴夫 監修
田中真一/窪園晴夫 著

理論と練習 にほんごのはつおんきょうしつ
りろんとれんしゅう



独習にも、授業にも！

日本語を学ぶ外国人留学生に

日本語の発音のしくみを理解して、CDで確認・練習できる

日本語を教える教師に

日本語の発音指導の教科書として最適

音声学に関心を持つ大学生に

音声学・音韻論の基礎を学ぶ、格好の入門書

CD付

This textbook serves as:

- a self-teaching guide to Japanese for foreign learners
- an excellent textbook for classroom use
- a necessary introduction to phonetics and phonology

にほんご はつおんきょうしつ
日本語の発音教室

Introduction to Japanese Pronunciation

りろん れんしゅう
理論と練習

Theory and Practice

窪園晴夫 監修

たなかしんいち くぼのはるお
田中真一・窪園晴夫

● はじめに ●

目的・対象

この本は、おもに日本語を外国語として学んでいる人達と日本語教師を目指している人達を対象に、CDを使いながら独学で日本語の発音と音声学・音韻論の基礎を学ぶことができるように編纂された本です。音声学・音韻論の基本的知識を通して日本語の発音を学び、また、日本語の発音を学びながら音声学・音韻論の知識を身につけるといふことを目標としています。音声学や音韻論の基礎を解説していますので、言語学や国語学を専攻する人達の音声入門教材としても使えるものと思います。

上記の目標を達成するために、次の三点を特に重視しました。一つは、日本語がアジアや欧米などの諸言語とどのように異なっているかを明らかにすることです。この視点から日本語の音声現象と音韻構造を分析し、音声学の基本的な概念を説明しながら日本語音声のおもな特徴を解説しました。二つ目はこの問題と関連して、日本語の自然な発音にとって何が大切であるか、日本語学習者がどのような点で間違いやすいかを明らかにすることです。日本語の発音には長音や促音といったモーラ・リズムの問題や、複合語アクセントをはじめとするアクセントの問題など、日本語学習者にとって共通して難しいと思われるポイントがあります。本書はこのような共通の問題点に焦点をあてて、日本語の音声現象と音韻構造を解説してみました。さらに、発音の学習を通して日本語文化に触れるということも、この教科書で重視したところです。諺や歌、俳句、川柳、早口言葉、漫画などを例文や練習問題に積極的に取り入れました。このような題材を使って、楽しく日本語の発音を学んでもらえたらと思います。

構成

本書は四つの章から構成されています。「母音ほいんと子音しいん」と題する第1章では、人間が音声を発する仕組みを解説した上で、日本語の母音と子音の特徴を述べました。この章では「風かぜ、車くるま—風車かざぐるま」や「一本、二本、三本」のように、同じ単語が異なる語の中で発音を変える現象も解説しています。続く第2章では撥音はつおんや促音そくおんといった、いわゆる特殊拍とくしゅぱく（特殊モーラ）の問題をとりあげ、日本語のリズムの基本を解説しました。

第3章では特殊拍と並んで日本語音声の特徴づけているアクセントをテーマに取り上げました。アクセントとは外来語がいらいごアクセントや複合語そなアクセントなど、語に備わった発音の特徴を意味します。これらの特徴を決定する規則は思ったよりずっと単純なもので、その規則を体得できれば日本語の発音が飛躍的に自然なものとなります。アクセントは日本語の中でも方言によって大きな違いが見られますが、本書で取り上げているのは共通語きょうつうご（東京方言とうきょうほうげん）のアクセントです。

最後に第4章では、文を発音するときに現れるイントネーションの現象を取り上げました。イントネーションと言え、疑問文ぎもんぶんでは文末を高く発音するという規則が有名ですが、それだけではありません。同じ疑問文であっても、どの語をどのくらい高く（あるいは低く）発音するかによって文の意味が変わってきますし、また話者の感情や気持ちも変わってきます。この構造をしっかりと理解しておくことが、自然な発音にとって非常ひじょうに大事なことなのです。

以上の四つの章は、発音の小さな単位から大きな単位へと順番に並べられていますが、この順番で読まなくてはいけないというわけではありません。自分の関心のあるテーマを扱った章、あるいは自分が苦手にがとする問題を論じた章から読み始めてみて下さい。

CD と練習問題

読者が独学で日本語の発音・音声をマスターできるように、本書には数多くの練習問題と発音のCDが付いています。音声・発音の学習にとって重要なことは、本を読んでただ内容を理解することではなく、どのように発音されているかを実際に自分の耳で聞きながら、声を出してその発音をまねてみることです。何回もCDを聞いてから、声を出して発音してみることが上達^{じょうたつ}の第一歩です。各節の最後に付けてある練習問題も、そのために活用してほしいと思います。

CDには、本文中で取り上げた用例と練習問題が吹き込まれています。このCDに吹き込まれている語や文は、^{あみ}網をかけてあります。トラックは各章の節ごとに区切られており、『T2 0:24』や『T8 1:33』などの記号は、それぞれの語や文が、『トラック2の24秒』、『トラック8の1分33秒』に吹き込まれている、ということを表しています。

また、このCDのほかに、すべての例文と練習問題が吹き込まれたカセットテープ(60分テープ2本組)も準備しました。学校の授業などにもお使いいただけるとと思います。2,400円(税別)で販売しておりますので、ご希望の方は書店でご注文下さい。

発音をマスターするだけでは物足りないという人のために、各章末に読書案内をつけました。日本語の発音に関する基本的^{ほんかくてき}で本格的な参考文献^{さんこうぶんけん}をあげましたので、自分にとって読みやすいと思われる本から読んでみて下さい。

本書は、第1章の原稿を窪^{くぼ}が、第2章～4章の原稿を田中^{たなか}が執筆し、お互いの原稿を査読^{かいこう}する形で改稿^{かき}を重ねました。本書の刊行にあたっては、山本武史氏と池谷知子^{いけやちこ}さんに、それぞれ原稿の検閲^{けんえつ}と音源の作成でお世話になりました。また、くろしお出版編集部の方々、とりわけ狩野晶子^{しよげん}さんには出版に関する助言^{じよげん}をいただきました。ここに記してお礼申し上げます。

1999年3月大阪箕面にて

著者一同

● もくじ ●

はじめに	i
第1章 母音と子音	1
1.1 発音のメカニズム	2
1.1.1 発音器官	2
1.1.2 喉頭の働き	3
1.1.3 調音	4
1.2 母音	5
1.2.1 あいうえお	5
1.2.2 母音の無声化	7
1.2.3 母音の挿入	9
1.2.4 長音	12
1.2.5 母音の交替	13
1.3 子音	15
1.3.1 五十音図	15
1.3.2 濁音	19
1.3.3 半濁音	23
1.3.4 異音	24
1.3.5 撥音の「ん」.....	26
1.3.6 促音の「っ」.....	26
1.3.7 拗音	28
第2章 リズム.....	33
2.1 拍とその種類	34
2.2 特殊拍	39
2.2.1 促音の「っ」.....	39

2.2.2	撥音の「ん」.....	41
2.2.3	引き音	42
2.2.4	二重母音の第二要素「い」.....	44
2.3	フット	48
2.3.1	語の短縮	48
2.3.2	曜日	49
2.3.3	数字の伸長	49
2.3.4	数字の短縮	51
2.3.5	惑星	51
第3章 アクセント		55
3.1	日本語のアクセント	56
3.1.1	アクセントとは.....	56
3.1.2	アクセントの機能.....	57
3.1.3	アクセントの型と制約	58
3.1.4	アクセント型の傾向	61
3.2	名詞のアクセント	63
3.2.1	外来語のアクセント	63
3.2.2	名前のアクセント.....	65
3.3	複合名詞のアクセント	68
3.3.1	複合語とは	68
3.3.2	発音上のまとまり.....	69
3.3.3	後部が2拍以下の複合語	70
3.3.4	後部が3拍・4拍の複合語	71
3.3.5	後部が5拍以上の複合語	73
3.4	形容詞のアクセント	75
3.4.1	終止形・連体形のアクセント	75
3.4.2	活用形のアクセント	76
3.4.3	複合形容詞のアクセント	77

3.5	動詞のアクセント	80
3.5.1	終止形・連体形のアクセント	80
3.5.2	活用形のアクセント	81
3.5.3	複合動詞のアクセント	83
3.6	助詞と句の発音	85
3.6.1	助詞のアクセント	85
3.6.2	句・文の発音	86
第4章 イントネーション		91
4.1	イントネーションとは	92
4.1.1	はじめに	92
4.1.2	アクセントとイントネーション	92
4.2	2要素間の基本的なイントネーション型	96
4.3	フォーカスとイントネーション	100
4.4	「は」と「が」のイントネーション	103
4.4.1	対比の「は」	103
4.4.2	「は」と「が」	105
4.5	疑問詞とイントネーション	109
4.6	意味・統語構造とイントネーション	111
4.6.1	意味構造とイントネーション	111
4.6.2	統語構造とイントネーション	114
4.7	文末のイントネーション	119
4.7.1	文末イントネーションの型	119
4.7.2	文末詞「よ」「ね」のイントネーション	120
解答		129
索引		135

